

# 「GISで何ができるか -日本と世界」

近年、GIS（地理情報システム）は、地球科学と災害問題のみならず、医療科学、経済学、社会科学など多くの分野で目覚ましい進歩を遂げています。このGIS技術とGIS科学への大きな期待と需要に答え、この「新潟大学INTERPRAEVENT国際シンポジウム」の機会を利用し、新潟大学のGIS研究者グループと「にいがたGIS協議会」が協働し、「GISで何ができるのか：日本と世界」と題したワークショップを開催することとし、新潟大学国際戦略本部（国際学術サポートオフィス）ならびに新潟大学災害復興科学センターがこれを支援することになりました。

ワークショップでは、日本、インド、ロシアのGIS専門家を招聘し、日本と世界で、GISで何ができるのか、またどのように目的を達成すべきなのかを議論します。（シンポへの参加の有無を問わず）GISに関心のある方皆様を歓迎いたします。  
(入場無料)

日時：2006年9月26日(火) 10:00-17:00

場所:新潟大学ベンチャービジネスラボラトリー

主催：新潟大学GIS研究会・にいがたGIS協議会

後援：INTERPRAEVENT2006国際シンポジウム新潟組織委員会

国際戦略本部サポートオフィス、新潟大学災害復興科学センター



# プログラム

10:00-10:15

主催者の開会挨拶と趣旨説明と祝辞

10:15-12:00

日本のGISの活用の現状

10:15-11:00

東京大学空間情報科学研究センター特任教授 今井 修氏

題目：我が国における参加型GISの展開

11:15-12:00

国土地理院地理情報解析研究室長 小荒井 衛氏

題目：日本のGISの現状と動向

12:00-13:00

昼食休憩

13:00-16:00

世界のGISの活用の現状

13:00-14:00:

インド国立中央研究所主任研究員 シヤンタヌサルカル博士

題目：インドの自然災害管理におけるGISとリモートセンシングの役割

14:00-15:00

コーヒー休憩

15:00-16:00

ロシア雪崩安全センター所長 パベル チェルノス博士

題目：ロシアにおけるGISの現状

16:00-17:00

自由討論

17:00

閉会挨拶

## □ 問合せ先

山岸宏光

Tel・Fax：025-262-6957

E-mail：hiroyou@env.sc.niigata-u.ac.jp

にいがたGIS協議会

Tel：025-282-2600 Fax：025-285-6699

E-mail：office@niigatagis.com

## □ 会場周辺図

